



納税者への感謝の仕組みづくりを

町長＝現実的な対応は困難

町長 町が賦課・徴収している町税は、課税基準に基づき、所得の状況や資産の保有状況世帯構成に応じた課税されているものです。納税者一人ひとりの税金が社会全体を支えており、「積算納税額」の仕組みづくりは現実的な対応は困難です。

問 納税者の、何年にもわたる納税額を積算し、それをポイント化し、それを商品券にできるような、税の「見える化」による納税者への感謝を示す仕組みづくりを提案するが。



文化の発信拠点「御蔵入交流館」

問 御蔵入交流館の年間利用実績、使用料収入及び4月からの有料化による収入見込みは。

御蔵入交流館使用料有料化でいいのか
教育長＝利用者応分の負担は止むを得ない

教育長 利用実績は、団体数76団体、件数が702件、月平均約59件、利用時間平均3時間、21年度の年間使用料収入は405・9万円です。有料化による増収見込みは70万円です。

問 有料化により御蔵入交流館の利用を合わせると予想するが、

教育長 各利用団体が来年度の活動経費に、その使用料を見込んでいるようなので、減少はないものと推測します。

駒止湿原の路上駐車解消は

町長＝駐車場の拡張を検討

町長 「駒止湿原保存管理計画書」に沿ったガイドンス施設の早期実現を目指します。

問 監視員用の雨風をしのぐ建物設置の考えはないか。

町長 町道駒止線は、険しい地形に作られたカーブの多い道路です。高清水自然公園のような道路沿いの駐車場整備は厳しい状況です。自然保護と利用の面から、駐車場の拡張を検討します。

問 道路沿いに複数の駐車場を整備しない理由は。